

報道記者各位

2024年2月13日

テスホールディングス株式会社

(訂正) 電気小売供給事業において
「市場連動型メニュー」による電力供給を開始
～エネルギー多消費型ユーザーを中心に電気料金削減に貢献します～

テスホールディングス株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：山本 一樹、以下「当社」）は、連結子会社であるテス・エンジニアリング株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：高崎 敏宏、以下「テス・エンジニアリング」）が、この度、電気小売供給事業においてエネルギー多消費型ユーザーを中心に「市場連動型メニュー」による電力供給を開始いたしましたのでお知らせいたします。

■「市場連動型メニュー」とは

電力量料金単価が30分毎に日本卸電力取引所（JEPX）のスポット市場価格と連動した透明性の高い料金体系となっているメニューです。*（赤字箇所を訂正いたしました。）

$$\text{電気料金} = \text{基本料金} + \underbrace{\text{電力量料金（市場価格）}}_{\text{変動単価}} + \text{再エネ賦課金} + \text{託送料金} + \text{手数料}$$

■市場連動型メニューにおける当社グループの強み

①小売電気事業に関する豊富な知見と実績

テス・エンジニアリングでは現在、北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州の9エリアにて小売電気事業を行っております。本事業に参入した2010年以来、10年以上の供給実績があり、2023年12月末時点で、合計902地点への需要場所へ電力供給を実施しております。

②スポット市場価格高騰時に対するリスクヘッジが可能

当社グループでは、市場連動型メニューによる電力供給以外にも、環境・省エネ対策に関するエネルギーシステムのご提案が可能です。例えば、本メニューと同時にコージェネレーションシステム等の分散型電源を稼働させる等、スポット価格の高騰リスクに対応した複合的なエネルギーソリューションをご提案いたします。

③ユーザーの脱炭素ニーズに対応した多種多様な提案が可能

当社グループは創業以来、顧客の抱える環境対策、省エネ対策、エネルギーコスト対策等の複雑化するエネルギー課題に対して、多岐にわたるエネルギーソリューションをご提供してきました。市場連動型メニューにおいてもこれまでの知見を活かし、お客様の多種多様なニーズに対応した柔軟なご提案で、エネルギーコスト削減や脱炭素に関する取り組みに貢献いたします。

■今後の展望

当社グループは、社名の由来である「Total Energy Saving & Solution」の経営理念のもと「再生可能エネルギーの主力電源化」「省エネルギーの徹底」及び「エネルギーのスマート化」の3つの事業領域に注力しながら、総合的なエネルギーソリューションを提供しております。

今後は本メニューを通じて、エネルギー多消費型ユーザーを中心に電気料金削減や環境対策に向けたエネルギーソリューションを展開し、「脱炭素のリーディングカンパニー」として世界的なエネルギー脱炭素化に貢献してまいります。

■市場連動型メニューについて、詳しくはこちらをご覧ください

テス・エンジニアリング株式会社ホームページ「市場連動型メニューを開始いたしました」

<https://www.tess-eng.co.jp/service/pps/market-linked.html>

※市場価格に連動する料金体系のため、市場価格の高騰・急落の影響を大きく受けることとなります。

また、市場価格及びお客様の電気のご使用状況により、電気料金は高額となる恐れがあります。

■本件に関するお問い合わせ先

テスホールディングス株式会社 広報・IR チーム

<https://www.tess-hd.co.jp/contact/>

※当社グループは、テレワーク・時差出勤を取り入れております。

そのため、お電話での対応ができない場合がございますので、ホームページよりお問い合わせください。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。